

【表1】令和3年度全国学力・学習状況調査結果

平均 正答率	小学校6年		中学校3年	
	盛岡市	全国	盛岡市	全国
国語	68	64.9	69	64.9
算数・数学	70	70.3	58	57.5

《平均正答率の状況》

盛岡市の平均正答率について、小学校においては、国語は全国平均を上回り、算数は全国平均と同程度、中学校においては、国語・数学ともに全国平均を上回る結果となりました。

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

おおむね全国平均を上回る正答率も、

算数の「図形」領域等に課題

「児童生徒一人一人に資質・能力を育成することを目指した授業改善」の推進を

【表2】領域・内容別 全国平均正答率との比較

↑ 上回った領域	下回った領域 ↓
(小/国語) B 書くこと (中/国語) 読むこと (中/国語) 話すこと・聞くこと (小/国語) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (中/国語) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (中/国語) 書くこと (数 学) 関数 (算 数) D データの活用	(算 数) A 式と計算 (算 数) C 測定 (数 学) 数と式 (算 数) C 変化と関係 (算 数) B 図形

《学習指導要領の領域・内容別分析》

国語においては、小・中学校共に、全ての領域で全国平均正答率を上回る結果となりました。一方、算数・数学では、領域ごとに差が生じる結果となっています。特に算数の「図形」領域に

ついては、全国的な平均正答率の低さが新聞等の報道でも取り上げられ、話題となりましたが、本市においても例外ではありませんでした。今後、児童生徒の「わかる」「できる」を、より確かなものとするための授業改善の推進が求められます。

【表3】令和3年度学力向上推進事業成果の検証項目

	小学校	中学校
国語の授業の内容はよくわかりますか。 (児童生徒質問紙)	87 [42]	84 [36]
算数(数学)の授業の内容はよくわかりますか。 (児童生徒質問紙)	85 [51]	76 [39]
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。 (児童生徒質問紙)	85 [40]	85 [45]
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。 (児童生徒質問紙:「30分以上」の回答の割合)	39	43
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強を読みますか。 (児童生徒質問紙:「1時間以上」の回答の割合)	78	92
児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり広げたりすることができていると思いますか。(学校質問紙)	85 [17]	83 [22]

[] 内の数値は積極肯定回答の割合(%)

家庭と連携した生活習慣に係る取組も、学力向上の実現に向けて、その効果が期待できそうです。

◎質問項目「普段、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか」について、「4時間以上」から「全くしない」にかけて、時間が短いほど、平均正答率が高い傾向がみられました。

【中学校】

◎質問項目「普段、1日当たりどれくらいの時間テレビゲームをしますか」について、「4時間以上」から「全くしない」にかけて、時間が短いほど、平均正答率が高い傾向がみられました。勉強が大好き、教科が好き、勉強は大切、と思えるような授業づくりを、日頃から意識したいところです。

《質問紙調査の分析》

学校質問紙調査・児童生徒質問紙調査の結果には、各学校における日頃の教育活動の成果が、各質問項目に対する肯定的回答の割合の高さとなって現れています。

今後、肯定的回答の割合を高めることはもちろん「積極肯定」の割合にも着目し、高めるためにはどうあればよいか、各学校の実態に応じた取組の工夫・推進をお願いいたします。

【小学校】

◎国語・算数の教科に関する質問(○○の勉強が好きですか)「○○の勉強は大切だと思いませんか」等)全ての項目において、肯定的に回答した児童の割合が、平均正答率が高い傾向がみられました。

また、教科調査とのクロス集計から見えた、本市の特徴的な傾向について紹介します。